



大規模災害に備えた防災活動

株式会社富士化工研究所

～ 『ふじ BOUSAI 2015』に参加 ～

11月14日に『ふじ BOUSAI 2015』が開催されました。

このイベントは、自然災害に関する『知識』と地震体験車や応急救護などの『体験』を、家庭や職場の防災対策に繋げることができる実効性のある防災イベントで、当社も防災活動の一環として参加しました。

『知識』コーナーには、巨大ハザードマップ（8m×11m）を利用した自然災害ツアーや防災関係のパネル、災害対策車両の展示があり、『体験』コーナーには、自衛隊による炊き出しや応急救護などの体験ブースが多数ありました。

南海トラフ巨大地震を想定した震度分布では、当社のある富士宮市は震度6弱から震度6強の揺れに見舞われ、最大3～4分間揺れが継続すると想定されています。実際に体験ブースで、地震体験車による震度6の揺れを体験し、また、三角巾での応急処置や災害救援品による救護方法を体験してきました。

この体験により、地震発生の状況を具体的にイメージすることができました。今回体験したことを今後の社内訓練へ展開し、社員の防災意識の向上と、災害時の対応能力の向上に努めていきたいと思えます。



【災害対策用車両】



【自衛隊による炊き出し】



【災害救援品による救護体験】



【三角巾での応急処置体験】